

中川村バレー祭ルール（9人制バレーボール）

	ネットの高さ(m)	コート(m)	
		サイドライン	エンドライン
男子	一般 2.35 (上から8番目の穴)	21	10.5
女子	2.05 (上から2番目の穴)	18	9

サービス

- ・1セット目のサービスはじゃんけんによって決め、2セット目のサービスは、1セット目のサービスの行われた側のコートから行う。また、主審の吹笛後、8秒以内に行う。
- ・サービスは1度失敗しても、もう一度打つことができる。(2本行える)
- ・同一選手によるサービスが3点連続した時点で次の選手へサーブ権を移す。
- ・サービスはその試合を通じてその順番はかわらない。
- ・第2セット目の最初のサービスは、前のセットの最後のサーバーの、次の順番にあたる競技者から行う。

ポジション

- ・ローテーションは行わない。
- ・誰でもブロック・攻撃に参加できる。

ボールコンタクト

- ・1チームは相手コートにボールを返すまで3回ボールに触れることができる。また、ボールがネットに触れた場合は、相手コートに返すまで4回ボールに触れることができる。
- ・ブロックでボールに触れた場合は1回と数え、あと2回のうちに相手コートにボールを返さなければならない。(ブロック→ネットの場合は、3回で返さなければならない)
- ・ブロックのあと、同じプレイヤーが続けてボールに触れてかまわないが、接触回数は2回と数える。

ブロック

- ・ブロックの時、手や腕がネットを越えて相手コート側のボールに触れるとオーバーネットの反則になる。ただし、ボールに触れなければ、ネットを越えていても反則にならない。
- ・オーバーネットの限界線は、ネットの上端の白帯のふくらみいっぱいまでとし、ボールとの接触点で判定する。ボールと接触後に相手コートに手や腕がでても反則とならない。
- ・サービスに対するブロックはできない。

タッチネット

- ・プレイ中、選手がネット及びアンテナに触れたときはタッチネットの反則となりますが、以下の場合には反則になりません。

※アンテナの外側のネットおよびボールをプレイする一連の動作中でない時に、ネットに触れても相手チームのプレイを妨害しない場合。

※選手がネット外側のロープに触れた場合。

- ・アンテナのないコートは、ネットの延長線上(ポール上、ワイヤー上含む)から相手コートに入ったボールはすべて有効とする。

勝敗

- ・1セット21点（デュースなし）で2セット先取したチームの勝ちとなる。
なお、3セット目は行わず、得失点差で勝敗を決定する。
- ・順位は、勝ち点＞セット率＞得失点差の順で決定し、得失点差も同率の場合には、「9人制じゃんけん」で勝敗を決定する。
※「9人制じゃんけん」
対戦チームの選手9名同士で向かい合い、一斉にじゃんけんを行い、勝者の多かったチームの勝利とする。
- ・リーグ戦終了後、各コート決勝戦を行い、決勝戦は3セット目（15点先取デュースなし）を行う。

ゲームの進め方の決まり

プレイヤーの交代	・1セットにつき3回、3人を限度として連続または複数の交代を要求できる。 ・先発プレイヤーは、交代したあと一回だけコートに戻ってプレイすることができる。ただし、もとのサーブ順のプレイヤーとの交代に限られる。 ・新しいセットが始まる時、前のセットでプレイしていたプレイヤーは、ベンチにいたプレイヤーの誰とでも交代して良い。
タイムアウト	・1セットにつき2回、1回につき30秒を限度としてとれる。
チェンジコート	・セットの終了ごとに交代する。セット間は3分
試合時間	・試合の時間はおおよそ40分を目安にする。試合間は5分

プレイの決まり

- ・同じチームのプレイヤーが同時にボールに触れた場合、触れた回数は1回と数え、再びいずれかのプレイヤーがボールに触れてもダブルコンタクト（ドリブル）の反則ではない。
- ・両チームのプレイヤーがネット上で同時にボールに触れた場合は、どちらのチームもその後3回ボールに触れられる。
- ・相手プレイヤーにわざと触れてプレイを妨害すると、インターフェアの反則となる。
- ・相手コート内にあるボールに、自分側のコートからわざと触れて相手のプレイを邪魔したとき、インターフェアの反則となる。
- ・アンテナのないコートは、ネットの延長線上（ポール上、ワイヤー上含む）から相手コートに入ったボールはすべて有効とする。

その他注意事項

- ・グラウンド及びサンアリーナのコートについては、試合中の支柱等の転倒防止のため、審判は開始前にネットにたるみが無いか、支柱を固定する杭が固定されているかを確認し、試合中もネット及びコートの状態に注意すること。
- ・ラインズマンの配置はあくまで任意とします。